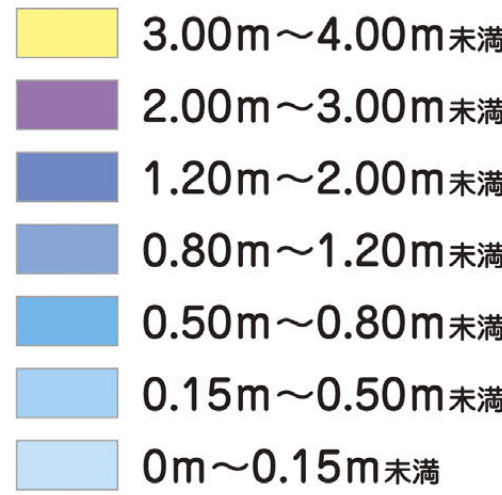


金沢区津波ハザードマップ(北部)

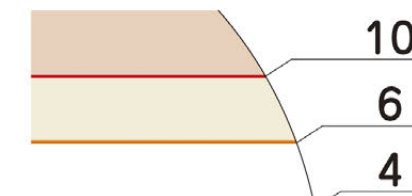
海岸付近で強い揺れや長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は、
ただちにその場から離れ高い所へ避難を！

避難対象区域

神奈川県が想定した慶長型地震の津波による浸水予測区域(浸水深)



海抜ライン



1 : 7,500

津波避難施設 (公共施設)

番号	施設名称	受入可能時間	索引
1	いきいきセンター金沢	月～土 9:00～21:00 / 日祝日 9:00～17:00	D-9
2	金沢区役所	24時間365日	D-9
3	金沢高等学校	24時間365日	C-9
4	金沢小学校	24時間365日	D-9
5	県立金沢総合高等学校	24時間365日	E-5
6	市営金沢住宅(高層棟)	24時間365日	E-4
7	市営金沢第二住宅	24時間365日	F-3
8	瀬ヶ崎小学校	24時間365日	C-12
9	横浜南部市場 水産棟	24時間365日	E-2
10	横浜南部市場 青果棟	24時間365日	E-2
11	並木第一小学校	24時間365日	F-4
12	並木中央小学校	24時間365日	F-4
13	八景小学校	24時間365日	D-9
14	六浦地区センター	月～土 9:00～21:00 / 日祝日 9:00～17:00	B-11
15	六浦中学校	24時間365日	C-11
16	柳町コミュニティハウス	月～土 9:00～21:00 / 日祝日 9:00～17:00	D-10
17	柳町地域ケアプラザ	月～土 9:00～21:00 / 日祝日 9:00～17:00	C-10
18	市営金沢柴町住宅	24時間365日	F-8
19	県営平湯団地	24時間365日	E-9
20	野島公園内津波避難施設	24時間365日	E-10
21	八景公園内津波避難施設	24時間365日	D-10

津波避難施設 (民間施設)

番号	施設名称	受入可能時間	収容人員(人)	索引
1	金沢文庫現業事務所	24時間365日	717	C-8
2	マリーナプラザビル	3階707号～9階1000号 6階屋上 年9:00～21:00	1,010	F-3
3	金沢シーサイドタウン並木一丁目第一団地 (UR都市機構)	24時間365日	—	F-3
4	金沢シーサイドタウン並木一丁目第二団地 (UR都市機構)	24時間365日	—	F-4
5	新杉田駅	24時間365日	1,050	C-2
6	南部市場駅	24時間365日	350	E-2
7	鳥浜駅	24時間365日	150	F-3
8	並木北駅	24時間365日	200	F-4
9	並木中央駅	24時間365日	550	F-5
10	幸浦駅	24時間365日	450	F-6
11	産業振興センター駅	24時間365日	400	G-6
12	福浦駅	24時間365日	350	G-7
13	市大医学部駅	24時間365日	350	G-8
14	八景島駅	24時間365日	200	F-8
15	海の公園柴口駅	24時間365日	150	E-8
16	海の公園南口駅	24時間365日	200	E-9
17	野島公園駅	24時間365日	350	E-10
18	金沢八景駅	24時間365日	350	D-10
19	関東学院大学 金沢八景キャンパス ベンネットホール	24時間365日	約1,400	D-11
20	株式会社ヤマダ電機 テックランド横浜金沢店	24時間365日	約3,000	F-3
21	独立行政法人海洋研究開発機構 横浜研究所	24時間365日	約100	D-2
22	ビアレコハマ本館・新館	24時間365日	約10,000	F-5
23	日本発条株式会社 横浜事業所	24時間365日	約300	G-8
24	イオン金沢八景店	10:00～22:00	—	D-9
25	ザ・パークハウスオイスコ金沢文庫	24時間365日	約1,900	D-9
26	済生会 若草病院	24時間365日	約100	E-10
27	Landport 横浜杉田	24時間365日	約1,000	D-3

※この図に示す浸水予測区域等は、シミュレーション結果によるものです。実際の津波発生時には、この図に示す浸水よりも、広い範囲が浸水したり、浸水深が深くなる場合があります。

凡 例	
	津波避難施設(公共施設)
	津波避難施設(民間施設)
	地域防災拠点
	津波警報伝達システム
	広域避難場所
	区 界
	町 丁 界
	J R ・ 駅
	私 鉄 ・ 駅
	各地点の海抜(単位m)

～津波ハザードマップのご活用について～

この度の「金沢区津波ハザードマップ」は、区民の皆様へ、津波への備えにご活用していただくために作成しました。被害を最小限に抑えるには、ぜひ、以下のことにご留意いただき、ご家庭や地域の防災活動に生かしていただきますようよろしくお願いします。

- お住まいや学校、勤務先など日常の生活圏が浸水エリアにあるかどうかをご確認ください。
- 避難場所の把握や避難経路などをご確認ください。
- 日頃から地域で行っている防災訓練などに積極的にご参加ください。
- 避難場所に避難される際には、感染症対策物品や服用している薬等の必要な物品を持参してください。

このハザードマップは、平成23年度に神奈川県が想定した津波のうち、横浜市にとって浸水面積及び浸水深が最大となる「慶長型地震」による津波モデルを基に、避難場所やポイント毎の海抜などを新たに表示したものです。

津波浸水予測の条件	
地震のモデル	慶長型地震
マグニチュード	8.5 相当
予測される最大津波高	約 4.0 メートル
満潮時に到達する海抜[注]	約 4.9 メートル

[注] 満潮時(横浜港の新設平均満潮水位=東京湾平均海面(T.P.)+0.9m)に津波が到達する海抜

◆津波警報伝達システムの設置◆

大地震による、津波の発生が予想される場合に、区民の皆様が少しでも早く避難行動がとれるよう、屋外スピーカーを使って、避難を呼びかける「津波警報伝達システム」を設置しています。本システムは、気象庁から発表される津波警報を受けて、設置したすべての屋外スピーカーから自動的に津波警報、避難勧告・指示等の緊急情報を一斉に放送します。



柳町コミュニティハウス

◆海抜標示の設置◆

海抜標示は、地域の方々が避難する際の参考として、居住地域の海抜がどの程度であるか日頃から意識し、津波災害に対する警戒と防災意識を高めるために設置したものです。



横浜市版

○主に沿岸区域の道路施設(道路照明灯、カーブミラー)や防犯灯などに設置しています。



金沢区版

○主に自治会・町内会の掲示板等に設置しています。

※デザインは横浜市立大学及び関東学院大学の美術部の学生が作成しました。

※設置単位は0mから10mまでとなります。